

令和5年度「山形学」第1回講座 実施報告書

- ◆日時：7月22日（土）13：30～16：00
- ◆会場：遊学館3階第1研修室
- ◆テーマ：大テーマ「山形の歴史的成り立ち」
第1回テーマ「庄内の歴史的成り立ち」
- ◆内容：開講式：「山形学」企画委員
講師：小野寺雅昭氏（飽海地域史研究会会長）
佐藤淳氏（公益財団法人致道博物館学芸部主任学芸員）
コーディネーター：小林好雄氏（「山形学」企画委員）
- ◆プログラム
 - 13：30 開講式
 - 13：40 講座「庄内の歴史的成り立ち」
 - 13：45 佐藤淳氏講話
 - 14：25 休憩（5分間）
 - 14：30 小野寺雅昭氏講話
 - 15：10 休憩（10分間・質問票回収）
 - 15：20 質疑応答
 - 15：55 コーディネーターまとめ
 - 16：00 終了

◆参加者数： 51名

◆主催：公益財団法人山形県生涯学習文化財団 後援：山形県教育委員会

◆当日の様子

佐藤氏は、城下町鶴岡の歴史と庄内藩主酒井家について、図やカラー写真をふんだんに記載した資料をもとに、パワーポイントを使用しながらわかりやすく解説された。特に、鶴岡の歴史を時系列に「庄内藩」以前の鶴岡、酒井家入部後の歴史を江戸時代前期、中期、後期、幕末、その後と時代ごとに分けてそれぞれの特徴をわかりやすく話された。また、17代までの藩主の婚礼がいかにか徳川家と深く結びついているか一目でわかる資料もあり、戊辰戦争へと至る理由も説明された。酒井家が庄内入部の際に、なぜ栄えていた酒田ではなく、ひなびた鶴岡に城をおいたのかあまり知られていないエピソードなども紹介された。鶴岡と藩主酒井家との強いつながりを感じ取ることができるお話の数々であった。

小野寺氏は、湊町酒田の文化と北前船についてお話くださった。酒田が北前船でいかに繁盛し、地域の発展に貢献したか、また本問家が財政危機に陥った庄内藩や米沢藩の面子を潰さないように武士をたてて救済した話など、酒田の歴史の数々を豊富な資料とともにパワーポイントで紹介された。

庄内は、昨年酒井家庄内入部400年、西廻り航路開設350年を迎え、また今年の大河ドラマに酒井家初代当主が登場するなど今、非常に活気づいている。酒井家400年の歴史、それを支えた酒田の豪商本問家の存在など、城下町鶴岡、湊町酒田を中心に武士の町と商人の町の違いや関係性など、庄内の歴史的成り立ちを深く学ぶ、大変有意義な講座となった。

参加者の声

- ・酒田と鶴岡の文化的・歴史的な背景の違いがおもしろかったです。
- ・庄内藩の年表や当主一覧、奥方の出自一覧など資料が大変充実していて、理解を深めることができました。また当主名に各々フリガナがついてあったのも、うれしかったです。
- ・酒田町の経済システムの図解など具体的にイメージできる内容で、興味深く聞くことができました。
- ・佐藤先生のお話は、鶴岡の歴史を時代ごとに分けてその特徴を簡潔に写真や図を基に解説して下さり、とてもわかりやすかったです。
- ・鶴岡の庄内藩の歴史について知らないことがまだまだあり、大変興味深く勉強になりました。
- ・鶴岡と庄内藩の歴史がよく理解できました。実際に致道博物館に行ってみようと思いました。
- ・酒田に火消人足があったことなど、初めて知ることが多々ありました。小野寺先生の熱意が伝わってきました。
- ・酒田の最新の歴史研究に触れることができ良かったです。大変勉強になりました。
- ・北前船について詳しく知ることができました。

○当日の様子



<開講式> 主催者挨拶 (江袋専務)



菊地企画委員長挨拶



企画委員紹介



<講座> 佐藤講師



<講座> 小野寺講師



<講座> 小林コーディネーター



<講座> 受講生